

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 東京天文台百年記念誌資料―その3-27-4― 東京天文台年表(昭和47～53年)**

筆者が引き継いだ東京天文台百年記念誌資料については、アーカイブ室新聞346号に「東京天文台100周年記念誌作成時の資料―その1―」、349号に「東京天文台100周年記念誌作成時の資料―その2―」、353号に「東京天文台100周年記念誌作成時の資料―その3―」、という記事を書いた。これらの資料は段ボール箱3個に入っていたので1箱目を―その1―、2箱目を―その2―、3箱目を―その3―としたのである。これらの資料についてリストのみでなく、内容を具体的に紹介する記事を書き始めたが、順不同で筆者が興味深いもののかってにピックアップして書いている。今回は3箱目の最後の48項目について報告したい。第353号のリストには、

27. 昭和24年～昭和52年と書かれた封筒 年表原稿 43枚

とある。アーカイブ新聞第835号(2015年6月25日)に「東京天文台百年記念誌資料Ⅲ-27について」という記事に書いたが、これは東京天文台百年記念誌資料の明治元年から昭和52年に亘る年表の原稿の一部であることが分かった。

今回は昭和24年～昭和52年の年表の第4段で、この号では、昭和46年～昭和53年までを載せる。

昭 和	号	項	出 典	号No.
47 (1972)				
47	1. 30	1972. 1. 30 の月食. 三鷹 65センチ赤道儀で撮影された皆既月食	月. 65-3, 表紙, 741, 24枚 1972(昭47)	5201
47.	2	梓観測所土木工事1972年2月から始まる	月. 68-1, p. 24, 1975(昭50)	5160
47.	3	小笠原父島における夜間大気光観測 父島北端の山甲のヒトアキ通称ウエザーステーションの裏地を借用し, 東京天文台測光部により夜光観測の行なわれた. 3月撮収.	月. 65-5, アルバム 1972(昭47)	5202
47.	3. 2/1	1972. 3月2日から3日間, 西京ハンブルクにて. 「天文学におけるシュミット望遠鏡の役割」の会議報告, 石田一義氏 シュミット望遠鏡模型. 設計検討用の望遠鏡とドームの模型(東京天文台工作部作) 昭46, 47, 48の3年計画, 大型シュミット望遠鏡日本光学に寄注. アルバム 大型シュミット望遠鏡建設予定地	月. 65-9, p. 37 1972(昭47) 月. 65-9, 表紙, アルバム9枚 1972(昭47)	5203
47.	5. 2/1	アフリカ日食の観測地調査 (アルバム) アフリカ日食観測の予備調査 (P287) 日経4部=部 1973. 6. 30の皆既日食に備え, 1972. 5. 28から10日間モリヤ=ア園を訪ね, 観測地などを調べた.	月. 65-11, アルバム5枚 p. 287, 1972(昭47)	5209
47.	7. 1.	1972年7月10午前8 ^h 59 ^m 60 ^s を皮切りに, 正のうろ移り毎分の間毎年1回の割合で続くとと思われる約10分おきのうろ移りの誕生 飯島重孝	月. 64-12, p. 321- 1971(昭46)	5158
47.	8. 1.	光害規制の要望書について. 1972年5月天文学会総会にて承認された方針にしたがい, 理事会は光害規制についての理事長名の要望書作成, 奥田理事長8月1日, 環境庁に小山長官を訪問し要望書を手渡し, 古畑天文台長とこれに説明, 懇談を行なう.	月. 65-9, p. 244 1972(昭47)	5208
47.	10. 8~9	ジャコビ=流星雨 10月8日~9日 アルバム ジャコビ=流星雨を捉らったカメラ(天棒) 東京天文台は, ジャコビ=流星雨を観測するために北海道では北見工業大学と女満別地磁気観測所とに観測地を設けた. そのヒモのカメラ. p. 311 ジャコビ=流星雨観測始末記 長沢工 10月5日~9日にかけて大出現予想されたが, はっきりと出現は見せずに終了.	月. 65-12, アルバム7枚 p. 311~ 1972(昭47)	5205
47		さざり座X線 Sco X-1の性質 東大宇宙研 松岡 勝 Sco X-1の同時観測の結果. 1971-1972の Sco X-1の硬X線光の同時観測はイントのハイラバンドで行われた. 1972年は東京天文台の12インチ反射鏡をハイラバンドの観測基地に持ち込み, 真鍋良之助, 三上良寿 両氏により観測遂行する	月. 66-10, p. 251~ 1973(昭48)	5222

昭和	要 項	出 典	カドNo.
47 (1972)			
47	<p>世界に在る光学望遠鏡の現状。筑城大・理学部物理学教室 小暮智一、田中靖夫、石塚俊久、井本三夫 取りあつかい光学望遠鏡は、口径50cm以上の太陽観測用と 除く天体物理観測用の望遠鏡</p>	<p>月. 65-1, p.7. 1972(昭47)</p>	9035
47	<p>シミット望遠鏡とマクスツ望遠鏡 - 世界の光学望遠鏡の概 筑城大・小暮智一、兼 今川文彦、筑城大 田中靖夫 ・シミット望遠鏡とその現状・マクスツ望遠鏡について。世界の現状</p>	<p>月. 65-4, p.89 1972(昭47)</p>	9037
47	<p>人工衛星追跡カメラのいろいろ (アルバム) ・ソ連 AFU-75. ・ソ連 VAVUカメラ ・フランス アンリールカメラ ・英国 ケラフカメラ ・ワイルド BC-4カメラ ・東独 ツァイス SBCカメラ ・鹿屋のワイルド BC-4カメラ p.264 世界の人工衛星追跡カメラオムニバード 岡田34一郎記 AFU-75 カメラ 赤羽賢司 写真あり マウントの構造とそれそれの目的と対比させて調べる</p>	<p>月. 65-10, p.114 p.264 1972(昭47)</p>	5204
47	<p>45cm 電波望遠鏡の模型 天文学将来計画の一環として計画され、設計、予算の交渉 などが 東京天文台を中心として進められている。</p>	<p>月. 67-1, p.33 1972(昭47)</p>	5159
47. 1. 1	新しい協定世界時施行。	天文台100年時年表刊	
47. 3	南本館増築完成。	"	
47. 5	秒の定義はAT秒と規定。	"	
47. 8. 31	本館観測所起工式	"	
47. 11. 7	望遠観測所開設 10周年記念式典挙行	"	

№	和	要	項	出	典	カードNo
48	(1973)					
48	1	1	改暦100年と旧暦と 内田正男, 1972.11. 太陽暦採用100年記念日	月. 66-1, p.7	1973 (昭48)	5216
48.	2.		木曾観測所建物工事1973年2月から始まる	月. 68-1, p.24	1975 (昭50)	5160
48.	2.	19	コペルニクス生誕500年記念シンポジウム 1973. 2. 19のコペルニクス生誕500年を記念して, 学術会議主催のシンポジウムが日本学術会議議室で開催された。 コペルニクス生誕500年記念展示会 国立科学博物館 p.219 コペルニクスの古蹟を歴史として 京産産大 荒木俊馬 p.227 コペルニクスの生れた街から 榊天文台, 在ボ-ラビ岩田仙	月. 66-9, プレバム p.219, p.227. 1973(昭48)		9039
48.	3.		東京天文台, 古畑正秋教授 1973-3月 定年退官 東北大学理学部 天文学教室, 一柳寿一教授 定年退官.	月. 66-6, プレバム 1973 (昭48)		550
48.	6.	30	1973年6月30日 アフリカ日食 (プレバム) p.7~ アフリカ日食観測 1973年6月30日の皆既日食を観測するために, 東京天文台, 京研大, 徳島観測所, 水戸部の研究員と東京大学医科研究所の医師1名は 守山史生を隊長とする観測隊を編成, モリタヤ回教共和国のアタールに出張, 5月21日 モリタヤ回教共和国に到着, 7月7日同国を離れた。(砂漠(=昭48年暮))	月. 67-1, プレバム p.7~p.17 日本関係 1974(昭49)		5223
48			1973年 アフリカ日食について 日三井栄一郎 気象状況, 観測地	月. 65-1, p.16, 1972(昭47)		5199
48			アフリカ日食隊スタッフ アタールの町角で (プレバム)	月. 66-10, プレバム 5枚 1973 (昭48)		5221
48	未		太陽電波10mパラボラアンテナとりわし (プレバム) p.188 雑報 昭和28年建設以来停止していた 野山山 太陽電波観測所施設以来予備機に転入されたこと。 最近老化甚しく危険なため, 昭48末 解体された。(統協別)	月. 67-6, プレバム 5枚 p.188 1974(昭49)		5212
48			1.2 加々 x (12 → 14) 1973 (昭48) 174 Hz 太陽電波干渉計	赤羽氏		13021
48			日本経緯度厚度 青木信仰 麻布の旧東京天文台の子午環の位置での, 天文経緯度(実際の直線経緯基準)と 鹿野山への方位の実測値(東経 139°44'40.5020, 北緯 35°39'17.5148, 方位角 156°25'28.442)に合致するようにセル精肉体を人工的にくっつけたものを測地基準の基準にした。 旧東京天文台の後身, 東大天文学教室から本館に移転(その後, 国土地理院の所管になっている)。	月. 66-1, p.25 1973 (昭48)		5217
48			岡山天体物理観測所の新しいイメージカメラ カラー研究のため, 1967年に寄贈されたイメージカメラの耐用年限が近づき, 新しく作った新しいイメージカメラを導入。	月. 66-5, プレバム 2枚 1973 (昭48)		5219

昭	和	要	項	出	典	冊No.
48	(1973)					
48		光電式二重像コンパレーター試作品 (表紙)		月. 66-5, 表紙,		5218
		光電式二重像コンパレーター (アルバム)		アルバム, p.114,		
		光電式二重像コンパレーター (p.114), 中桐正夫, 成相恭二		1973(0248)		
48		人工衛星用レーザー測距儀 (表紙)		月. 66-6, 表紙,		5210
		月報 1969 2月号表紙のものを改良したもの		1973(0248)		
		東京天文台での月レーザー測距ものがたり (I) 富田弘一郎		月. 66-11, p.287		"
		" (II) "		1973(0248)		
		" (III) "		月 66-12, p.317		"
		" (IV) "		1973(0248)		
48		25cm コロナグラフによるエッセルスペクトル (表紙)		月. 66-8, 表紙,		5220
		完成した 25cm コロナグラフの分光器等他. (アルバム)		アルバム 7冊, p.200		
		25cm コロナグラフによるスペクトル 第1.2回 (p.200) 平の淳吉		1973(0248)		
48		組立調整中の大型シュミット望遠鏡 (表紙)		月. 66-10, 表紙,		5211
		建設中の大型シュミット望遠鏡 主鏡他. (アルバム)		アルバム 6冊, p.249		
		大型シュミット望遠鏡建設の現況 (p.249) 石田基一		1973(0248)		
48	1	16	古天台長辞任し, 大沢清輝が9代台長に就任		天文台100年周年表より	
48	1		ミリ波望遠鏡で星間分子フェルムアルデヒドなどの検出に成功		"	

昭和	号	項	出 典	カードNo
49 (1974)				
49. 6		本宮観測所建物竣工	月. 68-1, p. 24 1975 (昭50)	5160
49. 7		本宮観測所のドーム望遠鏡の支柱を組立て. 調整が進んでいる.	"	"
49. 7. 29		神田茂成氏 80才. 元同日本天文学会理事長 斎藤國治, 前席五郎. 大正7年7月 数天文学集 大阪大学に在る 理科年表 担当. 彗星, 小惑星の軌道計算. 古暦, 天文の古記録分析調査, 新著書と業績 p. 340, p. 341 昭18. 退職 (満49才の時) の後 30年 福岡県のお宅で研究	月. 67-7, p. 290 1974 (昭49) 月. 67-11, p. 114. p. 333 ~ 1974 (昭49)	28
49. 10. 1.		東京天文台本宮観測所用新 東京天文台本宮観測所の105 cm シュミット望遠鏡 (表紙) 竣工した建物群, シュミット望遠鏡の組立て (p. 14) 本宮観測所の開所式を以て. (p. 24). 高野原文志郎 1974年10月1日開所. 午後1時から上松町公民館にて 式典と祝宴催された. 午前, 午後2回にわたり観測所 施設供覧.	月. 68-1. 表紙 p. 14 10枚 p. 24 1975 (昭50)	5160
49. 12. 8		100年前の金星日面経過観測の記念碑, 観測地に近い横浜 市紅華4丘, 神奈川県青少年センター敷地内に完成. 除幕式と 記念講演会 昭和49年12月8日 行われた ジャンソンの記念に残していった長崎の金星観測碑の100年の 歩み. 明治7年 (1874) 12月竣工当時の写真 (p. 14) 科学における黒船 100年前の金星日面経過観測 斎藤國治	月. 68-4, p. 14 1975 (昭50) 月. 67-12, p. 375 1974 (昭49) 月. 67-2, p. 14, 1974 (昭49)	7040
49.		8 mφ 1974 (昭49) 200-400 MHz 太陽電波動スペクトル	赤羽氏	13022
49		256チャンネル分光装置 1974 (昭49) 星間分子	赤羽氏	13023
49		新しい月面命名法にもとづくNASA月面地図の一部 (1:50万) (表紙) 月のクレーターの名前 (p. 14) 表裏 月面地物の新しい命名法 関口直伸 (p. 146)	月. 67-5, 表紙, p. 14, p. 146 1974 (昭49)	7041
49		マウントめぐり 電波望遠鏡の裏にね 1960年アルシボ (70メートル) 直径300mの球面アンテナ.	月. 67-9, p. 291, 各5枚, 2枚 1974 (昭49)	5214
49		マウントめぐり サイテロスタート ... 明治時代から太陽のカルシウム輝線の分光観測に使用 シーロスタート ... 日食などの野外出張観測に「カム」使用.	月. 67-8, p. 259 各5枚, 1974 (昭49)	5225
49. 11		70~220 MHz マルチチャンネル定量動スペクトル計設置	天文台100年略年表21	

昭和	要	項	出	典	号	No.
50 (1975)						
50 5 31/12	東京天文台平観測所月レーザー測距装置の公開 月レーザー測距装置ならびに諸設備の公開 平観測所に新設された月レーザー測距装置をおよぶ観測空 の全景。(表紙) 月レーザーのかけり (フィルム 12枚) 東京天文台での月レーザー測距ものかけり(Ⅳ) 古在由秀(p.283)		月. 68-4, p.135 1975 (昭50)		5161	
50 11 12/19	オリオン銀域研究会 東京天文台 講義室にて 11月17日, 1975 オリオン銀域研究会 磯部 秀三		月. 68-10, p.325 1975 (昭50)		5226	
50	相関型干渉システム導入 1975 (昭50) 17 GHz 太陽電波干渉計		月. 69-3, p.83 1976 (昭51)		13025	
50	音響光学装置導入 1975 (昭50) 太陽電波動スベクトル 干渉計.		赤羽氏		13024	
50	助手公募 助手1名, 長野県 木曾郡三岳村 東京天文台本 観測所(現地居住), 本台観測所助手選考委員会委員青木信博		月. 68-1, p.20. 1975 (昭50)		551	
50	ジャワに残した観測データ 宮地政司 ジャワ バンドン市 レンバン村 ホース天文台. 太平洋戦争中, ジャワ島が軍政下に置かれたころ レンバン天文台と 呼ばれ, 1年余りの間 緯度観測を4台の異なる各標の天文観 測行わす. 従来のホー博士に代り 宮地の台長は, 1945.89 解嚴 データ 救済		月. 68-10, p.319. 1975 (昭50)		9042	
50	赤波長域分光計 1880nm 反射鏡にとりつけた赤波長域分光計. 岡山の赤波長域分光計 西村史朗 (p.361)		月. 68-11, p.361. フィルム5枚 1975 (昭50)		5227	
50 3	月レーザー測距装置を臺平に設置		天文100年 昭年表 14			
50 4	太陽分光測光部門設置		"			
50 5	東京に大型宇宙電波望遠鏡建設委員会設置		"			
50 12	OKITAC 5090を FACOM-230-58に改新		"			
50	1972年開始した MONSEE (太陽地球環境国際定常観測)は 継続中であるが, 日本では 75年2月打ち切り		"			

年 号	要 項	出 典	カ-ト No.
51 (1976)			
51. 1.	東京天文台の新しい電子計算機 FACOM 230-58 1976. 1月より導入。ストレイジ・マイクのグラフィック・ディスプレイが付いている。天文学におけるグラフィック・ディスプレイ利用 (テルハム)	月. 69-11, テルハム p. 349 1976 (0251)	5162
51	FACOM 6234A ディスプレイ装置によるウエスト星 (1975年) の核の部分の等環度線 p. 349, 磁部巧三記 8机中 1976 (0251)	赤羽氏	13026
51	400~600 MHz 太陽電波観測スハクトル (音響光学型) 音響光学型電波分光装置 1976 (0251)	赤羽氏	13027
51.	256チャンネル 星向 SiO x-射線		
51.	素紙 干渉計 テルハム フーリエ干渉分光計, 干渉計 フリ・オフ・ネットワーク 工機干渉計 下組 コリメータ p. 7. フーリエ干渉分光装置, 東大工学, 田中 繁 ³ マイケルソン型干渉計を使い, インタフェログラムを測定し, これをフーリエ変換するこゝにより, スハクトルを得る。	月. 69-1, 素紙, テルハム, p. 7, 1976 (0251)	5228
51	岡山天体物理観測所の太陽黒点磁場観測用ポラリメータ (偏光観測装置) 西巻三 磁場測定原理, 西巻三の誕生, 因1~4.	月. 69-4, p. 108 1976 (0251)	5229
51	東京天文台 助午公著 東京天文台長 大沢清光輝 天文時部の助午公著, 木暮道格 大学院修士課程終了 申元 6月21日まで (藤本真寛氏採用)	日 69-6, p. 134 1976 (0251)	552
51. 1.	電波望遠鏡準備室完成	天文台100年誌	
51. 3.	20 cm 太陽望遠鏡完成	"	
51. 10. 23	オーストラリア皆既日食, <モリ (守山)>	"	
51. 10.	長野県日暮村の夜天光観測装置を本館観測所に移設	"	
51	IHS (国際磁気圏観測), 1976~79 開始	"	

昭和	要	項	出	典	号No.
44 (1969)					
44	1969年から東京天文台(写真天頂筒の中心を通る子午線)の採用 経度値が今までの $-9^{\circ}18'0.92930$ から $-9^{\circ}18'0.929355$ へ変更 第1表 東京天文台採用経度値の変遷 採用経度値と極厚真 観測厚真		月 62-5, p.115 1967 (昭42)		5173
44 3 28	東京天文台敷地 5548 m ² を公共物へ転入		東京大学一覽 昭44-45		16015
44 3 末	野田山太陽電波観測所の160MHz複合干渉計の東西系 ほぼ完成 最終調整中 表紙 野田山太陽電波観測所のアンテナ群 P.114 野田山太陽電波観測所の現況 4枚 1968年初夏, 1968年夏(2枚)1969年2月完成したアンテナ群 と観測標		月. 62-5, 表紙 P.114 4枚 1969 (昭44)		5172
44 3	喜通された方々、東京天文台 諸川 下保茂 3月27日 送別会 東京大学 藤田 長雄 教授 3月28日 東大天文学教室, 最終講義 京都大学 敷内 清 教授 4月5日 送別会		月. 62-5, P.114 1969 (昭44)		548
44 4 1	東京天文台に宇宙電波の研究部門を加える。(太陽電波部と宇宙電波部(観測部))		東京大学一覽 昭44-45		16018
44 7 21	人類 月に着陸。アポロ 11号 成功 アメリカ アポロ計画と月の地震 水谷 仁 (数理. 地球物理学部) P.114 アポロ11号が持ち帰った月の石 8枚 提供 アメリカ 大使館(USIS)		月 62-10, p.239. P.114 1969 (昭44)		9022
44 8	第16回 URSI 総会. 1969. 8月オタワにて開かた。 URSI (International Union of Radio Science) の 総会は3年ごと IAU の前身に開かれた。8つの分科会 第16回 URSI 総会報告 名古屋電研 田中 春夫 P.114 カナダ アルコンキン 太陽観測用干渉計 45メートル 電波望遠鏡		月. 62-12, p.303 P.114 4枚 1969 (昭44)		9025
44 9	9月15日から19日までの5日間 デンマークの Helsingør (Elsinore) で IAU 42 委員会主催の近接連星に関する国際コロキウム開催。 近接連星に関する IAU コロキウム 北村 正利		月. 62-12, p.304 1969 (昭44)		5179
44 10 7	野田山太陽電波観測所の完成. 信州大学農場宿舎にて南 所式. 160MHz 太陽電波干渉計のアンテナ群直径6m		月. 62-12, P.114 4枚 1969 (昭44)		5177
44 12 2	宇宙電波誌誌会 落成 (正式落成は 45 1月下旬)		月 63-1, p.17, 1970 (昭45)		5181
44	6m x 9, 8m x 2, 6m x 6. 160MHz 太陽電波干渉計, 偏波		表紙 4枚		13017
44	トートン・シムス 赤道儀 口径 20 cm, 焦点距離 270 cm. 明治 21 年 旗本館 に東京天文台が設立されることになったとき, 内務省地理院の 経費. 学生であった平山信博士が太陽黒点観測に利用, 他に太陽 暈光星の観測に用いた。三鷹に移ったのは 1931 年 北海道 斜里の日にあけつ フラッシュ スペクトル観測, その他に各種 現在 昔の姿に復元され, 上野の国立科学博物館に展示		月. 62-5, 表紙 1969 (昭44)		5170

頁	下	要	項	出	典	カトNo.
52	(1977)					
52	2. 4	ジヤコニ教授による X線天文学の講演。2月4日 東京天文台の 英語会で講演 X線天文学の創始時からの世界的リーダー。ハーバード大教授 1月26日から2週向來日。UHURU, SAS, ANS等のX線観測衛星 星により、多くのX線種類の線源発見され、又時間的変化と空間分解 能をもつ観測から、宇宙における高エネルギー現象のモデルの理 想的な検討の時代に入ったこと強調		月. 70-4, p.105 1977 (昭52)		9044
52.	4. 1.	大沢清輝教授退任 38年間勤務 3月18日 退官記念談話会「A型恒星の分光」講演		月. 70-6, p.112 1977 (昭52)		553
52.		東京天文台助手公募 東京天文台長 末元善三郎 測光部門の助手/名公募。大学院修士課程終了以上 申込。8月20日まで (応募書類は採用)		月. 70-8, p.232. 1977 (昭52)		554
52		アルバム. 木曾のシミット望遠鏡 [I] 機械系および光学系 p.100 木曾のシミット望遠鏡 [II] 機械系および光学系 野口 猛		月. 70-4, p.100 1977 (昭52)		5230
52		アルバム. 木曾のシミット望遠鏡 [III] 式交の観測から p.139 " 野口 猛記		月. 70-5, p.139 1977 (昭52)		5231
52		アルバム. 宇宙電波分光学の「新しい波」 音響光学型分光器実験機、6mミリ波望遠鏡等 6mミリ波望遠鏡に接点 p.243. 音響光学型電波分光器の試作 — 海部恒吉, 津田信治, 近田義広, 宇地竹史		月. 70-9, p.243 1977 (昭52)		5232
52	1. 16	大沢台長 任期満了, 末元善三郎 第10代台長に就任		天文台10年, 昭52年		
52	10	野田山に 17GHz 偏波計が完成		"		

期	和	要	項	出	典	ナドNo.
53 (1978)						
53	4	野田山宇宙電波観測所落成		天文台100周年誌		
53		大型射電望遠鏡建設開始		"		
53		太陽活動世界資料解析センター落成		"		
53	5	天文台部会内規を廃し教務会内規を制定		"		
53	5	IAU 太陽系の力学シンポジウム開催 (東京)		"		

この号では、昭和 47 年から昭和 53 年までの年表であるが、昭和 53 年は 5 月までになっている。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp